

## よいモデルの形

- 林分蓄積の例 -

広島県立  
林業技術センター  
時光博史

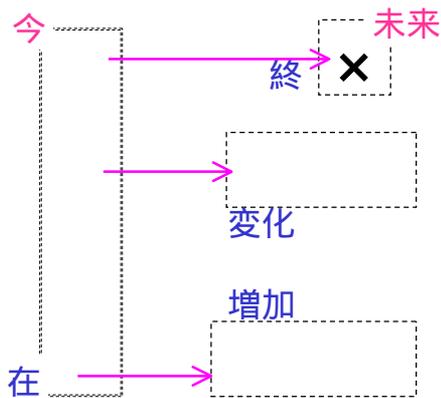
単位は **1** 1ha=10,000m<sup>2</sup> ?

一般的な単位は 林分蓄積(m<sup>3</sup> / ha) = 10 ~ 3,000  
連年成長量(m<sup>3</sup> / ha) = 1 ~ 50

命に関わる面積の単位は  
日本の稲作の単位 1反=1,000m<sup>2</sup>  
日本人一人当たり森林面積 2,000m<sup>2</sup>

今日の単位 林分蓄積(m<sup>3</sup> / 反) = 1 ~ 300  
連年成長量(m<sup>3</sup> / 反) = 0.1 ~ 5

## 現実に似たモデルの形は



## 誰が 何を求めるのか

持続の終りが気になる **満たされた者**  
「いつ終わるのか？」 **永續を讃える言葉**

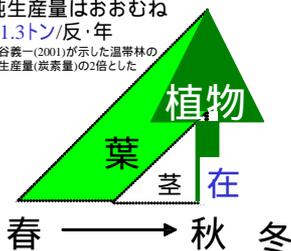
変化を求める **困った者**  
「どうすれば変えることができるのか？」  
**材料と方法**

増加を望む **うえた者**  
「どうすれば増えるのか？」 **結論や指針**

光: 太陽エネルギー (一定 - 変動)

## 増加の形は

純生産量はおおむね  
1.3トン/反・年  
大谷義一(2001)が示した温帯林の  
純生産量(炭素量)の2倍とした



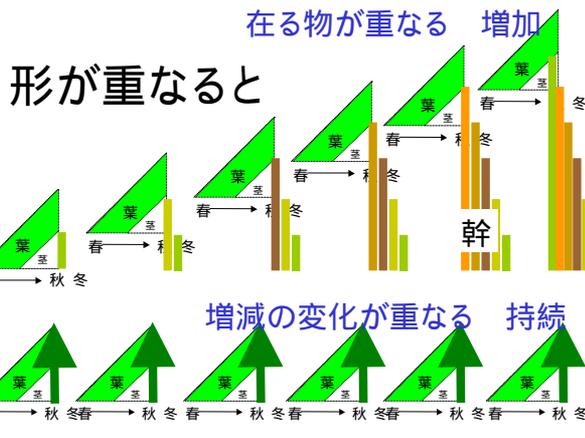
充分に密な  
森林の  
現存量密度は  
1.3トン/反・m  
依田(1971)から  
単位をかえた

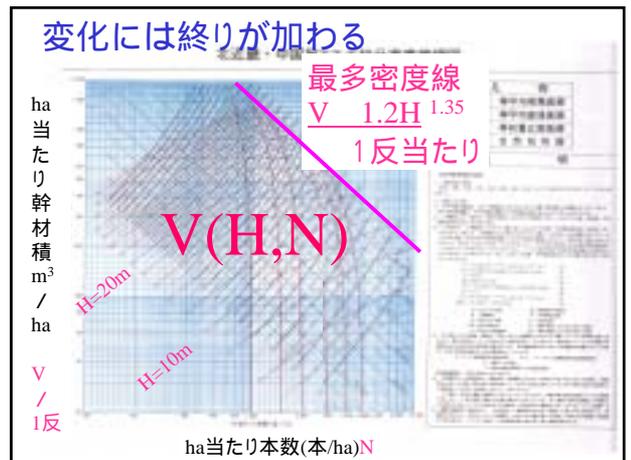
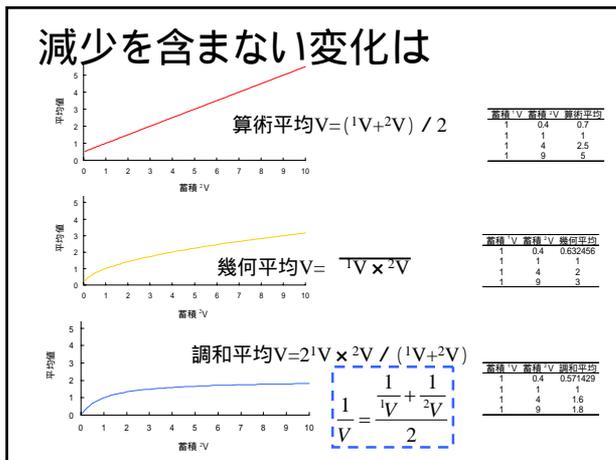
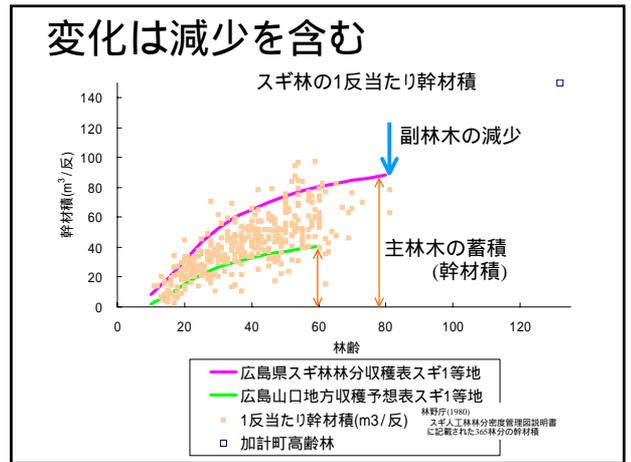
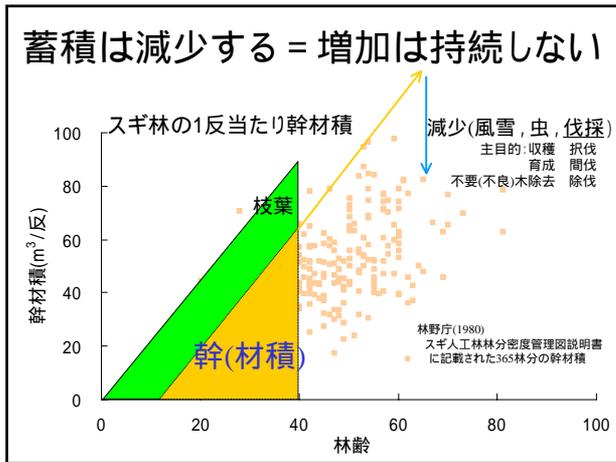
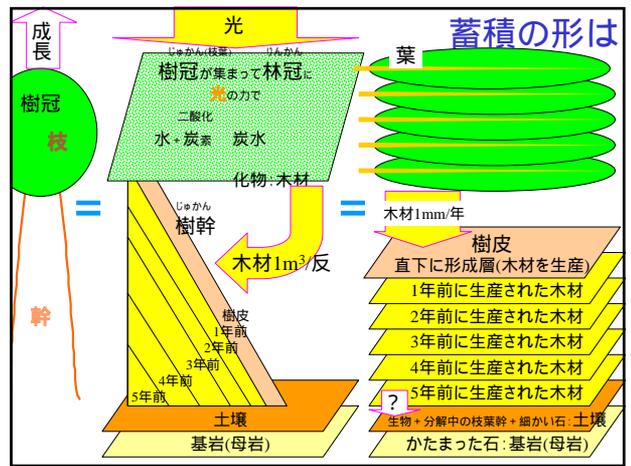
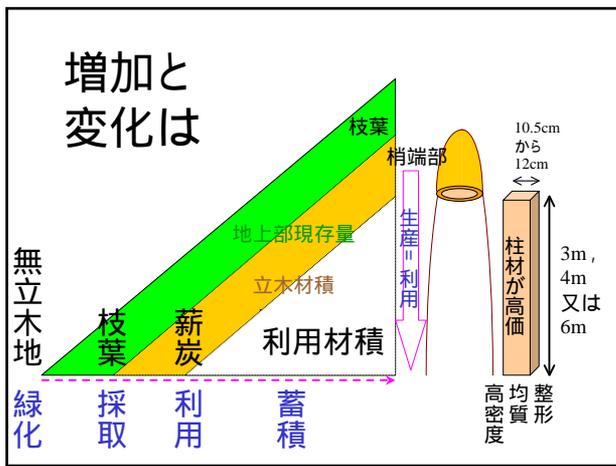
## 蓄積

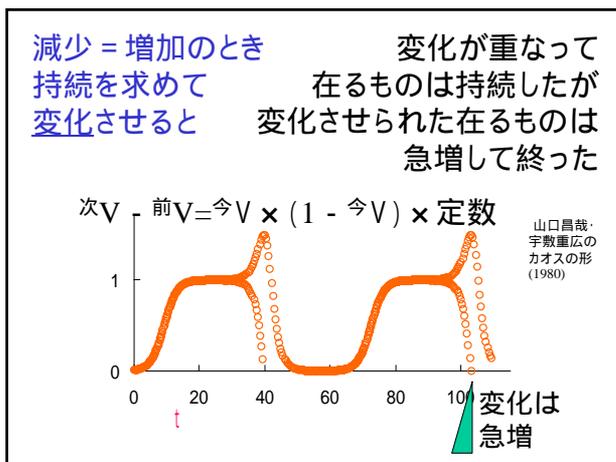
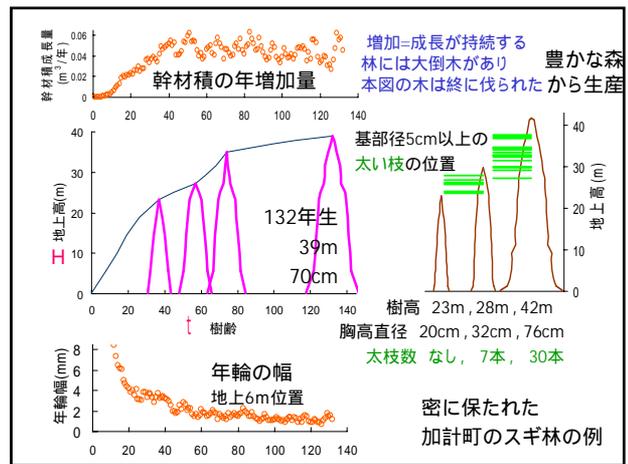
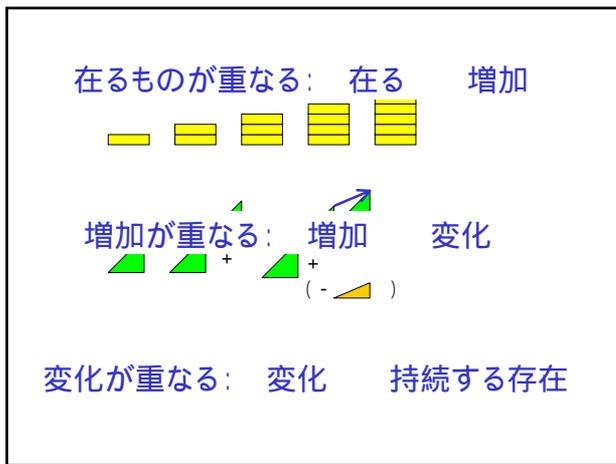
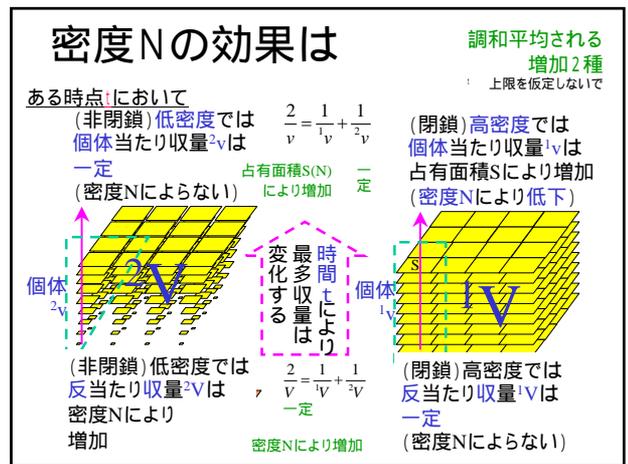
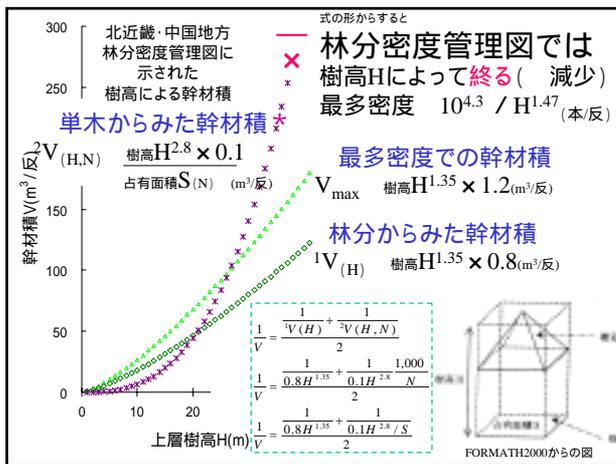


森林は1年に1m高くなる程の量を生産している

(変動) 土壌・石炭







減少を増加と呼ぶ工夫をすると

現存するものの増加と変化を関連付けて  
持続する存在を説明することができた

あるものの急増は嬉しいが  
大切なものが急減するというかもしれない...